

【件名】	上野動物園子ども動物園整備工事（外構工事・第二期）	【事務所名】	東部公園緑地事務所	
【工事場所】	東京都台東区上野公園地内	【受注者名】	日本パブリックサービス株式会社	
【工期】	平成28年3月25日から平成29年6月21日まで	【主たる技術者名】	現場代理人兼監理技術者 永島 俊之	

【工事概要】

子ども動物園ゾーン整備のうち、北側の施設整備及び植栽、並びにゾーン全体の舗装工事を行うものである。

【表彰理由】（※発注者側評価）

他の業種を含め最大10社が同時に施工する競合した現場において、ゾーン整備全体の工程を優先しつつも割り当て時間を有効に活用して工事を円滑に進めた。鳥ケージ内部造作等において、飼育担当からの要望にも臨機応変に対応した。仕上がりも優れ、施工管理も適切であった。



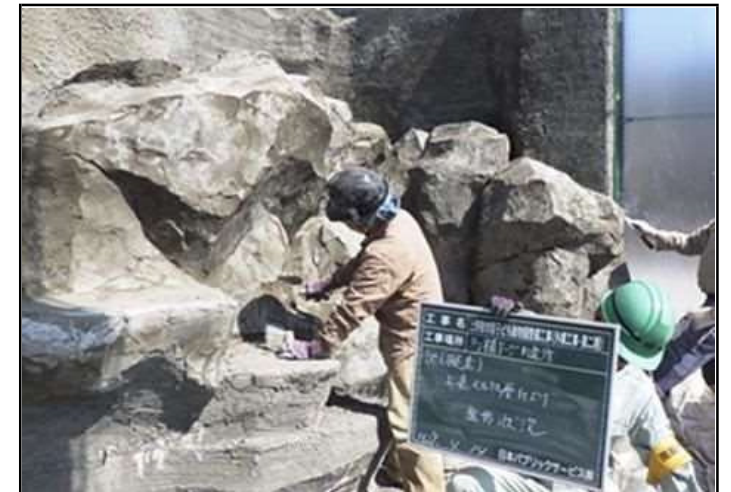
ゾーン整備施工前



ゾーン整備施工後

【受注者の声】

- ◇ 苦労した点
子ども動物園整備工事エリア内、当社含め建築・設備・造園・土木業者10社程が施工する中、他工事との工程調整、搬入出の経路の確認等に気を遣いました。
- ◇ 特に工夫した点
動物園内ということで、飼育担当の方からの意見を取り入れ飼育予定の動物の生態に合わせ飼育コーナー（特に鳥の巣穴・池）を造形・修景に工夫し施工した点です。
- ◇ 現場で得られたやりがいや達成感
完成したものに動物が入り、それで入園者の方々が楽しそうに過ごされているところを見たときは、達成感が沸き起こりました。
- ◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと
造ったものは、多くの方が長い間利用・観覧するものです。工事の途中思わぬアクシデントに見舞われても、妥協せず完成イメージを持って最後まで施工することが大事だと思います。



インカアジサシの生態に合わせる為、造形を工夫中